



2学期の教育活動

つづく つながる 夢を育てる学び舎

1 学校長より 「できないこと」より「できること」

コロナ禍でできなくなったことを考えるのではなく、今できること今だからできることに注目、挑戦し、70周年という節目の1年を達成感や充実感をもって過ごせるようにします。

具体的には、次の3つを意識して2学期の教育活動を進めていきます。

◎新しい学校生活に基づいて、感染防止対策と学習保障の両立をめざします。

これまでの経験に基づき、様々な状況に対応した方法により、計画された学習内容の定着を図ります。

◎学級、学年経営の充実、日々の授業や担任と子供とのかかわり等の日常を最優先する。

「4つのない」を意識し、日常の授業、生活の充実を第一に考えます。

また、副校長、算数担当が担任を務めることになり、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、副校長、算数担当が学級担任として学級の子供たちとの関係づくりや日々の授業づくりに専念できるよう学校体制を工夫します。具体的には、学級、学年の経営の充実を図るためにPTA及び地域の皆様との窓口等、これまで副校長が行っていた業務は校長が行います。算数の授業は算数担当の後任が見つかるまで学級ごとの授業となります。

◎70周年「特別な1年」を子供の思いや達成感を大切にしたい学校生活を共に創ります。

運動会等、大きな行事や子供たちが楽しみにしている活動ができなくなり、学習や行事の計画が大きく変更になりました。学習内容の定着や、感染防止にかかわる活動の充実に加え、子供たちの創意の生かした行事や活動を行っていきます。特に、現在企画している運動会に代わる行事や2月に予定されている展覧会については、70周年という節目の1年にふさわしい内容を子供たちと一緒に創り、子供たちが達成感、充実感を味わえるよう工夫します。

2 新しい学校生活について

別紙「8月の学校生活(8.17版)」にあるように、感染者の増加傾向が今後も予想されることから入室前の検温チェックが必要になります。地区班での登校は当面難しいと考えています。また、学校生活については文部科学省のガイドラインが随時更新します。国立市の方針に従い見直ししながら進めています。更新された内容については、ホームページやG Suiteを活用してお知らせします。

3 2学期(3学期)の行事等に関して

- 宿泊を伴う行事(6年)は実施方法を工夫して行う。実施21日前に実施の有無を最終決定します。
- 運動会は実施しない。子供の気持ちを考え、名称や運営の方法を工夫して行う。
- 学校公開は実施しません。月2回の土曜授業を行います。土曜授業は3時間授業となります。
- 展覧会・書き初め展は実施します。(運営の方法を工夫)
- 二松タイム(総合)・生活科等の体験・見学・発表会は活動内容、方法を工夫して行います。
- 儀式的行事は内容や方法を工夫して行います。(始業式・終業式、卒業式等)
- 対面による保護者会は行いません。ホームページやG Suiteを活用してお伝えしたい内容をお知らせします。

4 学年より

* 1学期を振り返って

家庭学習期間や分散登校を経て、ようやく日常が戻り、子供達にも笑顔が見られるようになりました。学校が再開してからは、生活に慣れるまでに時間がかかりましたが、次第にチャイム着席の徹底や「ふわふわ言葉」で表現する等、4年生としての言動が身に付き、落ち着いて学校生活を送ることができるようになってきました。また、夏休みを経て、身体も心も一回り成長している様子が見られました。

* 2学期の学習に関して

2学期は、1学期から継続してきた学習の積み重ねを活かし、子供達と一緒により充実した時間にするように支援・指導して参ります。4年生は、高学年に向けた準備の期間であるという意識をもち、新たなチャレンジをするような経験をしていってほしいと思います。

* その他（行事等）

- ・総合の学習では、11月頃に盲導犬ユーザーによる特別授業を予定しています。